

2004 明るくい人権の町づくり大会 開催



▲北伊予小学校6年生全員による人権啓発劇

5月9日(日)、松前総合文化センターで、「2004 明るくい人権の町づくり大会」が開催されました。

はじめに、主催者を代表して、赤星教育長は、「人は人との出会いで変容し、ほめられてやる気になる」「人はみんながうが、みんな必要な存在」「人とのつながりを大切に人間らしく生きよ」と人権の基本とも言える先人のメッセージを送りました。

次に、人権・同和教育の推進に貢献された渡部朝明・渡部喜代隆両氏に感謝状・記念品を贈呈後、白石町長、木下町議会議長、加戸県人権教育協議会長(代理山本事務局長)の祝辞をいただきました。

また、北伊予小6年生全員による人権啓発劇「わたしたちの人権集会」では、学級内の無意識な仲間はずしに気づかせ、自分を変えて仲良くしていく大切さを訴えています。

最後に、植物が花を咲かせ、実をつくり鳥を喜ばせるように、みんなが自分のよさに気づき、今ある自分に感謝して生き、人に喜んでもらえる存在になろう。生命とは命を生かしていくこと。人から与えられた命を自分の力でこの世に実らよう。この世はあなたの花を咲かせるところです。と、すばらしい勇気と感動をいただきました。

記念講演では、米田孝弘先生が、「この世はあなたの花を咲かせるところ」と題して、童謡「赤とんぼ」の歌詞に込められた母を思う気持ちから始められました。ご自身の体験をもとに、関心のある差別事例を次々大型スクリーンに投影しながら、本当の人権尊重とは何か、また、差別される者の苦しみ、差別する者やそれを見ている者の人間性喪失にふれられました。

さらに、人権・同和教育では、差別や不合理を訴えることができる子どもを育てるだけでなく、その訴えを受け止めることができる子どもを育てるよう強調されました。



▲感謝状贈呈の様子



▲記念講演 米田孝弘先生

特設人権相談所開設(DV相談)

ドメスティック・バイオレンス(DV)という言葉を知っていますか?

ドメスティック・バイオレンスとは、夫やパートナー(婚約者、恋人など)親しい間柄にある男性が、女性にふるう暴力をいいます。

ドメスティック・バイオレンスは、命にかかわる危険な犯罪です。

ドメスティック・バイオレンスは、女性への著しい人権侵害です。

誰にもいえず、苦しい胸のうちはあかすことは困難なことです。しかし、その勇気を持ってください。

DV被害は、本人が話さないかぎり真実はわかりません。解決するためには、まず声に出していうこと、個人の問題とせず勇気をもって相談することです。そのことによって、事態を客観的にみることができ、解決の糸口を見つける可能性もでてきます。

相談は無料で、秘密は守られます。

日時 6月25日(金)
午前10時から午後3時まで
場所 松前総合文化センター 3階第3研修室
相談員 人権擁護委員
問い合わせ 役場町民課住民係 ☎985-4105



平成15年度情報公開制度実施状況

松前町では、町民参加による公正で開かれた町政を推進するため、情報公開制度を施行しています。

平成15年度中は、4件(全部公開決定1件、部分公開決定2件、非公開決定1件)の公開請求がありました。

ご利用ください

情報公開コーナー(役場1階)では、第3次松前町総合計画、予算書、決算書、議事録など自由に閲覧できます。ぜひご利用ください。

問い合わせ

役場総務課情報公開係
☎985-4103